

秋田市新エネルギービジョン（改訂版）原案に対する各委員会からの意見と対応方針について

No.	意見の要旨	市の考え・対応	該当ページ
1	事業①の取組 ジャケット式や浮体式等の洋上風力発電の技術動向を調査します。 ⇒ジャケット式や浮体式等の洋上風力発電の技術動向を調査します。	事業①については、ジャケット式・浮体式を含む全ての洋上風力発電事業に共通する取り組みとして位置づけており、本事業においての修正は要さないものと考えておりますが、事業②と（新規）事業③のそれぞれの取組の差別化を図るため、以下のとおり修正いたします。 【事業②】 ◇国・県などの関係機関への積極的な要望活動を行います。 ・風車の大型化に対応した秋田港の機能強化の促進 ・建設工事における秋田港の継続的かつ効率的な利用の促進 ・ジャケット式や浮体式の洋上風力発電の導入を見据えた港湾機能の向上	34
2	ジャケット式や浮体式の洋上風力発電の導入を見据えた港湾機能の向上 ⇒ジャケット式や浮体式の洋上風力発電の導入を見据えた港湾機能の向上	・以下のとおり修正いたします。 【（新）事業③】 ◇国・県などの関係機関への積極的な要望活動を行います。（一部再掲） ・風車の大型化に対応した秋田港の機能強化の促進 ・建設工事における秋田港の継続的かつ効率的な利用の促進 ・ジャケット式や浮体式の洋上風力発電の導入を見据えた港湾機能の向上	35
3	酸化炭素回収・貯留技術 ⇒二酸化炭素回収・貯留技術	ご指摘のとおり修正いたします。	47 注釈
4	主な取組みの1つである浮体式洋上風力発電の技術動向調査においては、地域企業の参入可能性の高い分野の特定、必要となる技術力や人材等、将来の市内企業の参入支援に向けた取組みにつながるような調査を進めていただきたい。	浮体式洋上風力発電に関する技術動向調査に関しては、ご指摘の観点での知見の収集も必要となることから、今後の具体的な取組の検討にあたっての参考とさせていただきます。	35
5	「大型蓄電池等のエネルギー貯留システム」を追記した経緯を伺いたい。事業⑥の北部地区再生可能エネルギー工業団地と関連し、蓄電池メーカー等を誘致するという想定でしょうか。	第7次エネルギー基本計画においては、蓄電池の蓄電技術の向上と合わせて、長期エネルギー貯蔵を特徴とする電力貯蔵システム（LDES）の導入を目指すこととしています。こうしたことから、本ビジョンにおいても国の方針との整合性を図るとともに、今後、技術研究や実証実験が活発に行われるものと考えられることから、蓄電池を含む様々なエネルギー貯蔵システムに関する取り組みを推進していきたいとの考えのもと追記したものです。	41
6	国の再生可能エネルギーへの取り組みやGX戦略の方向性が反映され、県内経済の地域活性化の視点も十分盛り込まれた内容となっており、改訂内容については異論ございません。 一点申し添えるならば、現在、秋田県で策定を進めている「第3期 秋田県新エネルギー産業戦略」と秋田市の本改訂案との間で、戦略的な方向性や各種施策に齟齬やズレなどが生じないようにご留意願いたい。特に浮体式洋上風力発電産業や再生可能エネルギー工業団地への取り組みについては、それぞれ県と市の共通の重要なテーマでもあり、十分に考慮いただきたい。 検討委員会の開催、意見とりまとめ、改訂案作成へご尽力いただき、事務局の皆様には深く感謝申し上げます。引き続きよろしくお願いたします。	「秋田市新エネルギービジョン（改訂版）」が掲げる浮体式洋上風力発電の導入促進やCCS事業の推進、再生可能エネルギー工業団地の整備などの取り組みについては、県との連携が不可欠であることから、今後も歩調を合わせながら取組を推進してまいります。	—